まち・むら TOPICS

笠置町

防災関係機関と防災パトロール

5月16日(火)、出水期を目前に控え笠置町が主体となり、防災パトロールがおこなわれました。

これまでのパトロールは、感染症対策のため町関係課のみでおこなわれていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更を受けて、京都府をはじめ警察や消防など防災に関係する多くの機関との合同によって開くことができました。

当日は、土砂災害等のおそれがある町内計4箇所の施設をパトロールし、各機関からそれぞれの立場から貴重な意見が多く出されました。パトロール終了後には講評もおこなわれ、万が一の災害に対し対策の検討等について意見交換することができました。

住民のみなさんも再度、配布済みの防災マップを参考に防災備蓄品などの点検・確認をしてみましょう。

パトロール実施中の様子

和束町

今年もおいしい煎茶ができますように

5月9日(火)、和束中学校実習茶園で、新茶の手摘み作業がおこなわれました。

和束中学校生徒、和束小学校3年生、4年生児童に加え、和束町内外一般ボランティア総勢約100人の方が、茶農家さんの指導のもと35kgの茶葉を約2時間かけて摘み取りました。

この授業は約20年前から、和束町の基幹産業の茶業に関心を持ってもらおうと毎年この時期におこなわれているだけでなく、茶畑を農家さんからお借りし、和束中学校の生徒が1年を通して肥培管理までおこなっています。一葉一葉丁寧に摘み取られた茶葉は、その後和束町製茶体験工場において荒茶加工され、本年は京都で開かれる関西茶品評会煎茶の部に出品される予定となっています。

和束中学校茶摘み

南山城村

田植え体験の見学

5月10日(水)、南山城小学校の田植え体験に誘っていただき、4、5歳児が見学をおこないました。

地域の方に田植えの仕方の見学や実際に苗に触れさせていただきました。

その中でも子どもたちが一番喜んだのは、田んぼにいるさまざまな生き物。オタマジャクシの卵をお土産にいただき保育園に持ち帰りました。

普段はなかなか見られない光景に大喜びの子どもたちでした。

みんなでこれから植える苗を確認。

どうやって植えているのかな。みんな興味深々。